

【大会テーマ】

『子どもの特性を読み解き「学びの手立て」について考える』
～通常学級で気になるあの子～

昨年度開催した、北海道情緒障害教育研究会の全道大会を経て、今年で14回目の大会となりました。今年は昨年のテーマ『子ども達の「学び」の支援について考える～特別支援教育の視点から～』を受けて、「学びの手立て」について学び会といたしました。特別支援教育が学校の中で確実な展開を求められている今、様々な場面で「学び」に困り感をもつ子について、どのように理解し支援していくかが大きな課題となっています。今回は通常学級にいる気になる子ども達にスポットを当て、子どもの特性を読み解き「学びの手立て」について参加者の皆様と一緒に学んでいきたいと思います。今大会では、昨年の大会の分科会で大変好評だった川上康則先生を講師に迎え、子ども理解と手立てについてご教授いただきます。第1部は講演会です。川上先生の豊富な経験と見識から通常学級でできる子ども理解と支援について語っていただきます。第2部では、川上先生の示唆のもと、事例についてグループ討議を行いながらケース会議を体験していただく内容になっています。大会は通常学級向けのタイトルとなっていますが、特別支援学級や関係する機関での支援にも通じる内容ですので、たくさんの方々にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

【大会日程】

12:00	12:30	12:40	14:40	15:00	17:00	17:10
一次受付	開会式	第1部 【講演会】 〈小ホール〉	二次受付 休憩	第2部 【事例検討会】 〈小ホール〉		閉会式

☆第1部【講演会】

演題：『通常学級でできる、発達につまずきのある子どもの輝かせ方』

どの学校にも、どのクラスにも、「気になる子」や「発達につまずきがある子」がいます。年々、増えているという話もよく耳にします。関わり方のコツをつかむためには、まず、そのつまずきの背景を考えることが大切です。そこで、講演では、発達につまずきのある子どもの具体的な姿から、その背景を学び、現場レベルでどう関わればよいかを具体的に紹介します。また、特別支援教育は、「個別的な支援」が話題になりやすいのですが、この講演では特に、授業や学級経営を通して「集団の中で個を育てる」という視点を大きく取り上げる予定です。2学期からの実践にすぐに役立つ講演になることを期待しつつ、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

☆第2部【事例検討会（ワークショップ・ケース会議）】

テーマ：『特性に応じた学びに寄り添うために』

通常学級の中で様々な困り感を示す子どもたち。そんな子どもたちの特性に応じた学びに寄り添うためには、それぞれの子どもの特性を分析し、関わる支援者同士で知恵を出し合わなければなりません。この事例検討会では、ひとつの事例をもとに、参加者の皆さんでグループを作り討議をしていただきます。どのようにケース会議を進めればよいかを、特別支援教育コーディネーターとして、様々な学校でケース会議に関わってこられた講師の川上先生のアドバイスを受けながら、ワークショップ的に会議を体験していただきます。

【講師】

東京都立青山特別支援学校主任教諭

川上 康則 氏



特別支援教育コーディネーター、臨床発達心理士、特別支援教育士スーパーバイザー、自立活動教諭（肢体不自由）。筑波大学大学院修了。2014年より現職。肢体不自由、知的障害、自閉症スペクトラム障害、ADHDやLDなどの障害のある子に対する教育実践を積むとともに、特別支援教育コーディネーターとして、地域の学校現場や保育者などからの「ちょっと気になる子」への相談支援に携わっている。

著書：「〈発達につまずき〉から読み解く支援アプローチ」、「通常学級でできる発達障害のある子の学習支援」、「発達の気になるこの感覚統合遊び」他多数。

平成27年

8月3日(月)

第1部 講演会

12:40～ 参加費1000円

第2部 事例検討会

15:00～ 参加費1000円

全てに参加～ 参加費2000円

第1部か第2部だけの参加も可能です。

〔主催〕

ホノキ子どもの発達サポート教育研究会

〔後援〕北海道教育庁オホーツク教育局・北見市教育委員会・網走地方教育研修センター・北海道情緒障害教育研究会・オホーツクADHD & LD懇話会

〔会場〕

北見市民会館 小ホール

住所：北見市常盤町2-1-10



◆お申し込み・受付

- ・教育・保育・療育・医療・福祉・保護者など、どなたでも参加できます。
- ・裏面の申込書を使用してお申し込みください。
- ・申し込みの締め切りは7月29日(水)
- ・講演会のみ場合は当日受付も可能です。(できるだけ事前申し込みをお願いします。)
- ・第2部事例検討会はグループを組む関係で当日受付はできません。

◆お願い

- ・録音・録画をご遠慮ください。
- ・託児はありません。ご容赦ください。

◆お問い合わせ

ホノキ子どもの発達サポート教育研究会事務局:井理聡昭(網走市立中央小学校)
Mail:to-iri@d1.dion.ne.jp
fax:0152-61-0348

オホーツク子どもの発達サポート教育研究会 第14回研究大会 開催要項

1. 趣 旨

- ・オホーツク管内の、特別な支援の必要な子どもたちにかかわる人たちの連携を強める。
- ・配慮や支援を必要とする子どもたちの理解と支援の手だてを学ぶ。

2. 大会テーマ

『子どもの特性を読み解き「学びの手立て」について考える』
～通常学級で気になるあの子～

3. 主 催

オホーツク子どもの発達サポート教育研究会

4. 後 援

北海道教育庁オホーツク教育局・北見市教育委員会・網走地方教育研修センター・北海道情緒障害教育研究会・オホーツクADHD&LD懇話会

5. 日 時

平成27年8月3日（月）12:00～17:10

6. 会 場

北見市民会館 小ホール
住所／〒090-0817 北見市常盤町2-1-10

7. 大会日程

12:00	12:30	12:40		14:40	15:00		17:00	17:10
受付	開 会 式	第 1 部 講 演 会 2 時 間 (小ホール)		受付 休憩 20分	第 2 部 事例検討会 2 時 間 (小ホール)		閉 会 式	

8. 講 師

東京都青山特別支援学校
主任教諭：川 上 康 則 氏

9. 内 容

(1) 第1部（会場：小ホール）

講演会：『通常学級でできる、発達につまずきのある子どもの輝かせ方』

内容： どの学校にも、どのクラスにも、「気になる子」や「発達につまずきがある子」がいます。年々、増えているという話もよく耳にします。関わり方のコツをつかむためには、まず、そのつまずきの背景を考えることが大切です。そこで、講演では、発達につまずきのある子どもの具体的な姿から、その背景を学び、現場レベルでどう関わればよいかを具体的に紹介します。また、特別支援教育は、「個別的な支援」が話題になりやすいのですが、この講演では特に、授業や学級経営を通して「集団の中で個を育てる」という視点を大きく取り上げる予定です。2学期からの実践にすぐに役立つ講演になることを期待しつつ、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

(2) 第2部（会場：小ホール）

事例検討会：『特性に応じた学びに寄り添うために』

内容： 通常学級の中で様々な困り感を示す子どもたち。そんな子どもたちの特性に応じた学びに寄り添うためには、それぞれの子どもの特性を分析し、関わる支援者同士で知恵を出し合わなければなりません。この事例検討会では、ひとつの事例をもとに、参加者の皆さんでグループを作り討議をしていただきます。どのようにケース会議を進めればよいかを、特別支援教育コーディネーターとして、様々な学校でケース会議に関わってこられた講師の川上先生のアドバイスを受けながら、ワークショップ的に会議を体験していただきます。

10. 参集範囲

会員及び教育・療育・福祉・学生・保育関係者、及び保護者など、子どもの育ちや発達支援に関心のある方。

11. 参加費

全日参加：2,000円

(第1部講演会もしくは第2部事例検討会のみ参加は：各部ごとに1,000円)

※大会研究集録は1部1000円で頒布いたします。

参加申込み書にて申し込んで下さい。【オホーツク発達サポート研会員は無料】

※オホーツク子どもの発達サポート教育研究会に入会される方は、別途年会費2000円を申し受けます。本大会の集録を後日無料でお届けします。

12. 参加申し込み

- ・別紙申込書により郵送かFAXで申し込み。7月29日(水)締め切り
- ・第1部講演会については当日参加も可能です
- ・第2部事例検討会については、グループを組む関係で、当日受付はご遠慮ください。事前申し込みをお願いいたします。
- ・運営の効率化のために、事前申し込みにご協力ください。

13. お問い合わせと参加申込先

オホーツク子どもの発達サポート教育研究会 事務局：井理 聡昭(いり としあき)
網走市立中央小学校 網走市向陽ヶ丘4丁目67-1

TEL：0152-44-7368 FAX：0152-61-0348

※電話でのお申し込みはご遠慮ください。

14. 備考

- ・託児はありません。

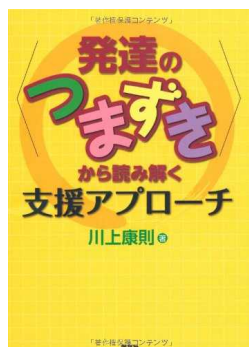
【講師紹介】

川上 康則 氏

【現職】東京都立青山特別支援学校主任教諭

東京都立青山特別支援学校主任教諭・特別支援教育コーディネーター、臨床発達心理士、特別支援教育士スーパーバイザー、自立活動教諭(肢体不自由)。1974年、東京生まれ。立教大学卒、筑波大学大学院修了。東京都立城南養護学校、東京都立港特別支援学校を経て2014年より現職。肢体不自由、知的障害、自閉症スペクトラム障害、ADHDやLDなどの障害のある子に対する教育実践を積むとともに、特別支援教育コーディネーターとして、地域の学校現場や保育者などからの「ちょっと気になる子」への相談支援に携わっている。第54回読売教育賞(障害児教育部門)最優秀賞など受賞歴多数。

主な著書に『発達をつまずきから読み解く支援アプローチ』(学苑社、2010年)、『発達支援実践塾一聞けば分かる発達方程式』(共編著、学苑社、2014年)、『授業のユニバーサルデザインを目指す「安心」「刺激」でつくる学校経営マニュアルーすべての子どもを支える教師の1日』(共編著、東洋館出版社、2014年)、『通常学級でできる発達障害のある子の学習支援』(共編著、ミネルヴァ書房、2015年)、『学校・家庭で楽しくできる発達の気になるこの感覚統合遊び(発達障害を考える心をつなぐ)』(監修、ナツメ社、2015年)などがある。



平成27年度 オホーツク子どもの発達サポート教育研究会 第14回研究大会

大会参加申込書

お 名 前	(必) 所属・勤務先	住 所 (集録を申し込まれる方)	参加の希望 (〇で囲む)	研究集録希望
	〒	(自宅・所属先)	○第1部講演会に参加 (1000円)	購入希望者は部数を記入(1部1000円)
	○印をつけてください: オホーツク発サ研会員・保護者・教育(小中高支援学校)・支援員・幼児教育・療育・医療・福祉・学生 その他()	○第2部事例検討会に参加 (1000円)	○第2部事例検討会に参加 (1000円)	※会員は無料
	〒	(自宅・所属先)	○第1部講演会に参加 (1000円)	購入希望者は部数を記入(1部1000円)
	○印をつけてください: オホーツク発サ研会員・保護者・教育(小中高支援学校)・支援員・幼児教育・療育・医療・福祉・学生 その他()	○第2部事例検討会に参加 (1000円)	○第2部事例検討会に参加 (1000円)	※会員は無料
	〒	(自宅・所属先)	○第1部講演会に参加 (1000円)	購入希望者は部数を記入(1部1000円)
	○印をつけてください: オホーツク発サ研会員・保護者・教育(小中高支援学校)・支援員・幼児教育・療育・医療・福祉・学生 その他()	○第2部事例検討会に参加 (1000円)	○第2部事例検討会に参加 (1000円)	※会員は無料

- 【注意事項】**
- ・全て参加される方は第1部・第2部両方に○をつけてください。
 - ・第1部講演会のみの場合は当日参加もできますが事前申し込みをしないでください。
 - ・第2部事例検討会は、グループを組む関係で当日受付はしておりません。
 - ・所属、勤務先の記入をお願いいたします(保護者の方は必要ありません)
 - ・研究集録を申し込まれた方は住所を忘れずにお書きください。
 - ・研究集録の発送は研究大会後、5～6ヶ月ほどかかることをご了承ください。
 - ・申込み欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

オホーツク子どもの発達サポート教育研究会では、研究大会の他、年数回の学習会、パソコンメールでの情報発信などを行っています。当研究会に入会を希望される方、もしくは検討されている方は、大会当日、会員受付でお問い合わせください。

郵送かFAXでお申し込みください

(電話でのお申し込みはご遠慮ください)

送付先: 網走市立中央小学校 井理 聡昭 (いり としあき) 宛

FAX: 0152-61-0348

学校住所: 〒093-0084

網走市向陽ヶ丘4丁目67-1

申込み締め切り7月29日(水)